

バイオなどの新技術と学際的研究で循環的未来と地域貢献を

No.
2


石川県立大学広報

2006.3

大連大学との友好交流協定の締結



大連大学との友好交流協定が結ばれました。これは県立大学にとって最初の外国大学との協定であり、国際交流が盛んに行われるであろう。

本号の内容

大連大学との友好交流協定の締結 2
学内提案型プロジェクト研究の発表会 2
平成17年度石川県立大学公開講座 2
国際交流 海外からのVisiting Scientists	... 3
講演会・セミナーフォーラム 3
特別講演会	
響緑祭 4
スキー授業 4
平成18年度入学試験状況 4
大学の動き 5
「石川県農業短期大学址」碑の除幕式	
卒業研究発表会	
石川県農業短期大学最後の卒業式	



大連大学の建物

発行 石川県立大学広報委員会

みなさんのご意見をお待ちしています

インターネットホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/ishikawa-pu/> 電子メール kyoumu@ishikawa-pu.ac.jp

〒921-8836 石川県石川郡野々市町末松1丁目308番地

電話 / 076-227-7220 FAX / 076-227-7410

大連大学との友好交流協定の締結

平成17年10月13日（木）大連大学において、本学と大連大学との友好交流協定の調印式が執り行われた。

当日は、式に先立ち、両大学の懇談会が催され、本学からは丸山学長、吉本総務課長、大連大学からは高大彬学長、趙亜平前学長、王文波副学長及び数名の教員、また、両大学の友好協定締結に際してお世話していただきました日本海国際交流センターの古賀理事長が同席し、両学長より大学の概要説明が行われました。

その後、調印式が行われ、本学の丸山学長と大連大学の高学長が協定書にサインしました。

今後は、本協定に基づき、教員・学生の交流、学術文献の交換及び共同研究等を通じて学術・教育上の交流を推進するとともに両国の友好と親善を促進し、両国の学術文化の発展に寄与することとしています。

なお、調印式終了後に大連大学から丸山学長に客員教授の称号を授与されました。



大連大学内で概要説明を受ける丸山学長

学内提案型プロジェクト研究の発表会

平成17年度から学内提案型プロジェクト研究制度が発足し、教育改善プロジェクト（2件）、若手研究プロジェクト（2件）、一般プロジェクト（5件）、全学研究プロジェクト（1件）、地域貢献プロジェクト（2件）が採択され、研究が実施され、平成18年3月16日に石川県立大学で発表会が盛大に行われました。



発表会の状況

平成17年度石川県立大学公開講座

第1回石川県立大学公開講座が『コメと果物からみた日本農業の将来』というテーマで石川県立生涯教育センター22号室で、平成17年11月26日午後開催されました。『果物からみた日本農業の将来』というテーマで生産科学科杉浦 明教授が、『コメからみた日本農業の将来 - 世界コメ市場の特殊性とFTA - 』というテーマで辻井 博教授が講演した。出席者は熱心に聴講し、講義後討論も行われました。



『コメからみた日本農業の将来 - 世界コメ市場の特殊性とFTA - 』というテーマで講演中の辻井教授

国際交流 海外からのVisiting Scientists



写真が示すように諸外国から多くの学者が石川県立大学を共同研究のため訪問しました。本学の研究者も多数外国の研究機関などへ共同研究のため訪問してきました。

学振拠点大学研究プロジェクト「耐熱微生物による未利用生物資源の有効利用」の共同研究のため
Dr. Supak Pounbangpho (右)
タイ王国ナレスアン大学医学部助教授
期間平成17年11月1日-15日
Dr. Thida Sripuan (左)
タイ王国チェンマイ大学(京都大学受入者)



大連民族学院
胡文忠 教授(生命科学院 副院長)、劉玉彬 副院長、徐冰 教授(国際語言文化研究センター副主任)
2006年1月12日に本学を表敬訪問



「地球温暖化が乾燥地農業に与える影響に関する研究」(総合地球環境学研究所)の共同研究のため

1. Dr. Onur Erkan
トルコ共和国チュクロバ大学農学部教授
期間平成18年1月11日-15日



2. Dr. Ufuk Gultekin
トルコ共和国チュクロバ大学農学部講師
期間平成17年6月-12月。



学振拠点大学研究プロジェクト「ジャワにおける環境保全的農業発展の可能性の研究」の共同研究のため

1. Dr. Ageng Setiawan Herianto、
インドネシア共和国ガジャマダ大学農学部講師
期間 平成18年1月31日-2月10日。

講演会・セミナー・フォーラム

特別講演会

石川県立大学連携セミナー・
石川サイエンス&テクノロジーフォーラム

特別講演会では、沢田敏男京都大学名誉教授(写真、平成18年1月18日)、山田康之奈良先端大学院大学学長(平成17年11月25日)に講演していただいた。第18回サイエンス&テクノロジーフォーラム(平成17年11月18日)や石川県立大学連携セミナー(平成18年1月31日)など多くのセミナーが本学で開催され、産官学の連携に向けての交流が促進されました。

沢田敏男先生の特別講演
「今世紀における大学の使命、在り方について
特に地域における開かれた大学のあり方」を
講演されている



響緑祭

H17.10.29～30

石川県立大学・石川県農業短期大学の最初で最後の合同学園祭「響緑祭」が行われました。例年同様の野菜・花卉販売や模擬店の他、よさこいや実験などの催しも行われました。



雲をつくる実験



模擬店（ベビーカステラ）



模擬店（ワッフル）



よさこい



卒業生協賛の野菜・花卉販売

スキー授業

H18.1.5～7

長野県梅池高原スキー場にて行われた。宮口講師、池田講師の指導の下、1年生36名（男19名、女17名）が中級・初級・初心の3班に分かれ、技術の向上に励みました。



参加者全員の集合写真

平成18年度入学試験状況

一般選抜（前期日程）

()は女子で内数

区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
生産科学科	22名	66名(33)	61名(33)	33名(16)	1.8
環境科学科	22名	97名(34)	88名(32)	33名(14)	2.7
食品科学科	22名	83名(54)	81名(52)	34名(23)	2.4
計	66名	246名(121)	230名(117)	100名(53)	2.3

一般選抜（後期日程）

()は女子で内数

区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
生産科学科	10名	123名(56)	53名(26)	14名(6)	3.8
環境科学科	10名	136名(53)	71名(24)	12名(4)	5.9
食品科学科	10名	105名(78)	49名(39)	10名(7)	4.9
計	30名	364名(187)	173名(89)	36名(17)	4.8

推薦

()は女子で内数

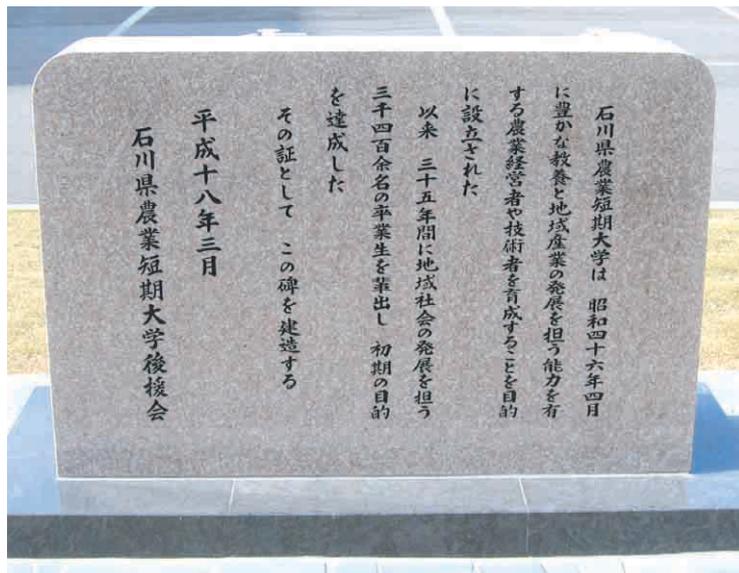
区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
A	生産科学科	6名	7名(3)	7名(3)	6名(3)	1.2
	環境科学科	6名	8名(4)	8名(4)	5名(3)	1.6
	食品科学科	6名	16名(9)	16名(9)	6名(5)	2.7
	計	18名	31名(16)	31名(16)	17名(11)	1.8
B	生産科学科	2名	1名(1)	1名(1)	0名	
	環境科学科	2名	1名	1名	1名	1.0
	食品科学科	2名	1名(1)	1名(1)	0名	
計	6名	3名(2)	3名(2)	1名	3.0	

合格者最高点・最低点・平均点

区分	学科	満点	最高点	最低点	平均点
前期日程	生産科学科	500	411.6	362.4	386.4
	環境科学科		438.6	367.0	388.6
	食品科学科		445.8	381.6	401.2
後期日程	生産科学科	450	352.0	300.0	314.9
	環境科学科		326.8	287.8	299.8
	食品科学科		348.8	305.2	323.6

「石川県農業短期大学址」碑の除幕式

石川県農業短期大学の閉学を記念して後援会により作成された「石川県農業短期大学址」碑の除幕式が、後援会会長、卒業生、学長、学生部長の手により、川島良治名誉教授（前学長）達が見守るなか、卒業式当日に行われました。



碑の裏面



丸山学長による碑の除幕



除幕式に参加された名誉教授の先生方および丸山学長。左より湯川清光、川島良治、丸山学長、加藤啓介（敬称略）

卒業研究発表会

卒業研究発表会が生物生産学科では2月16日～17日に、農業工学科では22日に、食品科学科では2月20日と22日に開催されました。生物生産学科と食品科学科では口頭発表（写真）で農業工学科ではポスターセッションでの発表が行われました。各学科それぞれ50名、37名、34名の学生がこの一年間の研究成果を発表し、会場からの質問にも熱心に答えていました。



生物生産学科の発表会の状況

大学の動き

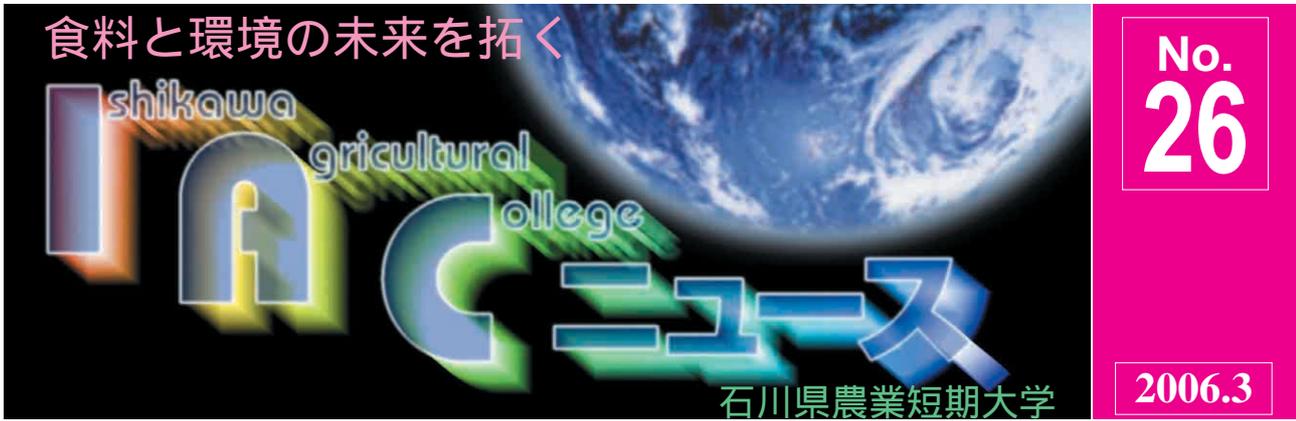
10月13日	大連大学との友好交流協定調印式
10月29 - 30日	響緑祭
11月19日	推薦入試
11月26日	公開講座
2月25日	一般入試（前期）
3月12日	一般入試（後期）
3月15日	卒業式＜農短大＞

<<編集後記>>

石川県立大学広報第2号・石川県農業短期大学広報第26号をお届けします。本年度は石川県立大学開学初年度でかつ石川県農業短期大学の最終年度となりました。本広報にも示しましたように、農業短期大学の第34回卒業式が行われ、最後の卒業生を送り出しました。また農業短期大学の記念碑も建立され、除幕式も執り行われました。

来年度からは本広報はIPUNとなります。気を引き締めて石川県立大学の研究と教育の発展と地域貢献に努めたいと思います。

石川県立大学広報委員会



石川県農業短期大学最後の卒業式

平成18年3月15日、石川県農業短期大学最後（第34回）の卒業式が行われました。本学は昭和46年に開学し、35年間で3,404人にのぼる卒業生を輩出しました。また、式では学旗が返納され、本学は閉学されました。そして、本学が育ててきた伝統は石川県立大学に受け継がれました。



丸山学長より、杉本石川県副知事への石川県農業短期大学学旗の返納